

令和5年度事業報告

令和5年度は、事業計画に基づき、市当局をはじめ、関係者の御支援と御協力のもと、職員一丸となり取組を進め、年間の宿泊稼働率は過去最高の91.2%を達成した。

また、宿泊利用者数は平成8年(1996年)オープン初年度の18,130人から19,069人と28年ぶりに最多の来客者数を更新した。

しかしながら、物価上昇による取引先業者の料金値上げ、老朽化による突発的な修繕等支出も増加した。そこで改善策として納入業者見直しの検討など経費削減と、8月と1月に宿泊単価の値上げを行った。

全体収支では、993万7,539円の赤字となったが、キャッシュフローベースの収支(減価償却費の要因を除いた現金収支)では665万4,419円の黒字となった。

一方、平成8年に会館が建設されて以降、大規模な施設改修を実施していないため、近い将来、冷温水発生機や共有部分のエレベーター、外壁工事など大規模修繕にかかる資金の確保が必要となる。そのため、ビュー・ポートくれ建物全体の方向性も考慮し、呉市をはじめ金融機関ならびに関係各所と連携し、引き続き検討していく。

1 部門別の状況について

(1) 宿泊部門

広島県内においてG7サミットを開催した特別需要の効果もあり、年間宿泊者数19,069人、客室稼働率91.2%となり、宿泊売上は1億318万4,571円と過去最高額となった。

朝食レストラン営業においては、物価高の影響による納入業者の商品の値上げで原価率が上昇し、納入業者の見直しや材料の変更といった対策を講じたが、宿泊者に対する利用率は29.6%にとどまっており、コスト管理が難しい状況にある。

また、厨房従業員の高齢化に伴う将来の人材確保や厨房内とレストランフロアの高額な設備更新の観点から、営業方針等についての検討が引き続き課題となっている。

(2) 貸会場部門

売上は、前年比94.1%と利用が減少している。

(3) 生活相談部門

生活相談事業は、一般財団法人への移行の際、公益目的事業と位置付けたものであり、その目的を達成するための取組を進めた。

「船員しんぶん」及び船員会報「海員」を設置し、船員の広報活動を支援した。

2 施設運営について

(1) 保守管理業者の選定

複合建物全体の保守管理業務、5階以上の会館の日常清掃、ベッドメイキング等の業務については、前年度と同様、「㈱くれせん」との間で随意契約により委託した。その他施設の保守管理等についても、自動更新も含め、前年と同様の業務委託契約を締結した。

(2) 設備機器の保守管理等

保守管理業者により、定期整備・点検を実施した。

令和5年度は、予算化した客室和室の空調調節機器の取替工事を行った。

また、故障及び不具合が生じた冷温水発生機や消防設備など、その都度修繕を行った。日常的な点検は職員が交代で行っているが、設備の老朽化により故障は増加傾向にあり、引き続き課題となっている。

3 職員関係について

5月1日現在の従業員は、正職員9名、臨時職員3名、パート職員3名、総勢15名で会館運営を行っている。

また、3月31日付をもって出向職員契約は満了した。

職員の待遇については、4月に昇給を行うとともに、7月及び12月に賞与を支給した。

4 呉市からの借入金について

毎年290万円の返済を続けてきた呉市からの借入金については、コロナ禍の特別な事情から令和5年度まで返済が猶予された。

5 受託事業について

呉市きんろうプラザ指定管理者業務とビュー・ポートくれ管理組合の共用部分委託業務については、本年度も引き続き誠実に業務を遂行した。